

# キャンプを取り入れた新入生宿泊研修が 女子高校生の自己開示の深さに与える影響 ～共感経験に着目して～

村木 俊太 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)  
指導教員 林 綾子

キーワード：青年期女子，キャンプ，自己開示，共感経験

## 1. 序論

現代の日本では、ある程度までは他者と仲良くなることができても、さらに一步進んだ関係にまでは誰もと発展させることができない若者が増えていると言われている。この原因の1つに、自己開示が表層的なものに限定されていることが考えられる。自己開示とは、「個人的な情報を他者に知らせる行為であり、相手にわかるように自分自身をあらわにする行為」(榎本, 1997) である。

筆者は、キャンプが青年期女子のより深い自己開示の手助けになると考えた。そこで本研究では、キャンプを取り入れた新入生宿泊研修が女子高校生の自己開示の深さに与える影響を明らかにし、特に、共感経験との関連に着目し、展開することを目的とする。

## 2. 研究方法

【対象者】2013年4月18日～20日に〇女子高等学校スポーツコース宿泊研修に参加した27名を実験群とした。クラス作りを目的とし、冒険活動を含むキャンプ体験を行った。また比較群としてキャンプではない宿泊研修を行ったキャリア進学コース38名、幼児教育コース39名を対象とした。

【調査方法】自己開示質問紙(丹波・丸野, 2010)の4つのレベル(趣味・趣向, 容易には克服できない困難な経験, 決定的ではない欠点や弱点, 自分の性格や能力の否定的側面), 28項目を本研究用に16項目に修正し、事前と事後, 1ヶ月後の計3回実施した。共感性質問紙(角田, 1991)の2群(共有経験測定項目・共有不全経験測定項目), 20項目を本研究用に10項目に修正し、事後に実施した。追加項目として筆者が独自に作成したクラスの評価質問紙5項目を1ヶ月後に実施した。

## 3. 結果と考察

### 1)自己開示得点の変容

調査時期とコースを要因とする2要因の分散分析を行った結果、実験群(スポーツコース)の自己開示得点は、事前-1ヶ月後の間に有意な向上が見られた(図1)。

キャンプという非日常的な環境で仲間と共に困難を乗り越えるなどの喜怒哀楽の感情を共有した体験が、影響を与えたのではないかと考えられる。事前-事後間に有意な差が見られなかったのは、期間が短かったからと考える。しかし、事前-1ヶ月後の間での向上には良いきっかけになっていると考える。キャンプで育まれた人間関係を基に学校生活に取り組んだことで、事前-1ヶ月後の間に有意に向上したのではないかと考えられる。

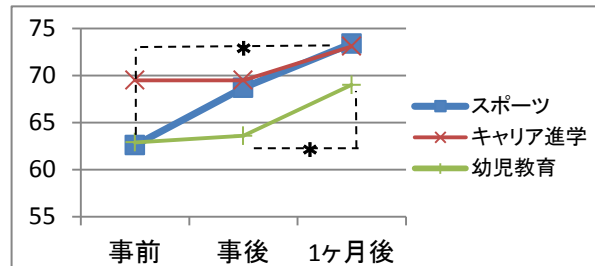


図1. 自己開示得点の推移 \* $p < .05$

レベル別では、レベル1の「趣味・趣向」、レベル3の「決定的ではない欠点や弱点」、レベル4の「否定的な性格や能力」で事前-1ヶ月後の間に有意に向上した。キャンプでの寝食を共にする体験や、自分がどんな人間であるかを相手に伝える機会、困難な活動を共にする体験をおこなったことが向上した要因として考えられる。レベル2の「困難な経験」では、有意な差は見られなかった。レベル別では、絶大な信頼感を必要とする深いレベル4においても向上が見られたことは意義ある結果である。

### 2)自己開示と共感経験の関連

自己開示と共感経験には、有意な正の相関が確認され、より共感していた生徒ほど、より自己開示できていたことが明らかになった。

自己開示レベル別と共感経験は、レベル1からレベル4全てに正の相関が確認され、すべてのレベルにおいて、より共感していた生徒は、より深く自己開示ができていたことが明らかになった。

### 3)自己開示とクラスの評価の関連

自己開示とクラスの評価は、3コースの合計で有意な正の相関が確認され、より深い自己開示ができていた生徒は、クラスの評価得点が高かったことが明らかになった。

## 4. まとめ

キャンプを取り入れた新入生宿泊研修をおこなうことは、自己開示の深さに影響を与えることが明らかになった。キャンプという非日常的な体験で、感情を共有できるプログラムを行ったことが、有意な向上の要因であると考えられる。今後の課題として、宿泊研修で得られた効果が、学校生活の場面で活かされているかを検討する必要がある。

## 引用文献

- 1)榎本博明・清水弘司(1997),自己開示と孤独感,心理学研究,第63巻,第2号,pp114-117.
- 2)角田豊(1994),共感経験尺度改訂版(EESR)の作成と共感性の類型化の試み,教育心理学研究,第42巻,第2号,pp193-200.
- 3)丹波空・丸野俊一(2010),自己開示の深さを測定する尺度の開発,パーソナリティ研究,第18巻,第3号,pp196-209.